



あゆみ

No. 182

令和 7年 3月28日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



桜の木の下で
カラオケを楽しみました
と
ご馳走

『令和七年度に向けて』

施設長 飽田 一夫

今年の冬は何度も寒波が襲来しことのほか厳しかった分、ここ数日の暖かさが嬉しいですね。施設の目の前にお宮のソメイヨシノも、やっと教輪咲き始めました。春は事を始めるには本当に良い季節だと、毎年思います。

令和七年度の苓山寮、第二苓山寮、グループホームの重点目標は「夢を持つ」です。六年度は「疑問を持つ」と「夢を持つ」でした。どんな仕事でもPDCAサイクルを廻すことで少しずつ前進することが出来ます。常に疑問を持ちながら事に当たること、サイクルを廻していきこうという気持ちで、一年間を過ごしてきました。令和七年度は、さらに一段階仕事の質を上げたいと考えています。福祉業界も仕事の効率化や人手不足解消のために、デジタル化や福祉機器の導入が進んでいます。支援の内容については、自閉症スペクトラムや強度行動障害の方への対応や支援方法も日々改善されていて、研修も盛んに行われています。また、世の中の賃金上昇

の流れがこの世界にも及んでいきます。明日の福祉は今日よりもっと良くなる。そう思えます。職員にも是非この世界で自分なりの夢を描いて欲しい。どんなに小さな事でもいいのです。それが仕事の質を上げるということではないかと思えます。

虐待防止目標は「目で見て心で聴いて行動で示す」に決まりました。利用者の皆さんと深い信頼関係をまずは築き上げ隠れた意思を汲み取ることに、それが全ての支援の始まりになります。その汲み取った意思と一緒に具現化していくことが、利用者の皆さんに夢を持って貰うことになります。

私は、施設長室で頂いた胡蝶蘭を何年も育てています。毎年花を咲かせることが小さな夢です。今年も咲いてくれました。小さな夢でも実現すればこんなに嬉しいことはありません。令和七年度の一年間、職員も利用者も夢を大切に育てて欲しいと願っています。

サービスの現場より



『令和六年度を振り返って』
荅山寮副施設長 鮑田 一喜

新型コロナウイルスや、インフルエンザへの感染が繰り返される年度でしたが、利用者も職員も新しい事を始めようとする意志は挫けず、道を切り開いてきました。一日五分の動画研修は管内研修を更に昇華させ、焼き物活動の再開は利用者の職住分離を一步進められたと感じております。今まで旅行が困難だとされた最重度利用者の皆さんの一泊旅行では、彼らの喜ぶ姿に昨年度の重点目標としていた「疑問を持つ」と実践し、常識を覆した結果が特に反映されていきました。また目新しいことだけでなく、毎日の歩行を積極的に行う、口腔ケアを指導に沿って行うこと等を重視したことは利用者の心身を見直す機会にもなったと感じております。この仕事での取り組みにはプロスポーツの勝利や新商品の発売といった一分一秒で劇的な効果や目に見える収益というのはありませんが、いい一日を送るための努力を惜しまず、何でもやることで、全ての人々が中身のある一年を作る事ができるのだと信じております。次年度の新たな目標「夢を持つ」ことを利用者や職員、施設の総意とし、理念の「明るく・素直に・仲良く」を忘れずに、意思決定支援を是とする新年度を進めていきたいです。



『担当利用者さんへの取り組み』
荅山寮支援員 松山 憲士

私が担当しているKさんは昨年度末に転倒され大腿骨を骨折され手術されました。四月から新しく担当させて頂きましたが、退院後状態の変化が多い時期で難しい時期でした。まずは転倒に気を付けながらも筋力、体力の低下を防ぐ為状態に合わせて歩行に取り組みました。普段から円背姿勢が強く見られ視線が下がってしまう為、歩行中は都度顔を上げて頂けるように声掛けを行いました。歩行に対して拒否はなく頑張っており、組んで下さり少しずつ歩行能力は回復され、今では再転倒のリスクが高い為マンツーマン対応ではあります。手すりを使用し歩くことが出来ています。その他、浮腫や夜間の不眠など見られており他支援員や看護師とも連携しチーム支援でより良い支援を検討し実施しています。又、Kさんが施設生活の中で楽しみにしていることはドライブです。退院後直ぐは参加出来ていませんでしたが、歩行が可能となり定期的に参加して頂いています。ドライブへの参加を尋ねると「うん」と直ぐに立ち上がり車へ向かわれます。車内でも笑顔が見られておりこれからも健康で楽しい施設生活を送れるように支援していきたいです。



『地域移行』
第二荅山寮グループホーム
山口 智史

令和七年三月一日にグループホームつばさでの生活を始める事とされた、Mさんについてお話ししたいと思います。平成七年四月に第二荅山寮へ入所され、約三十年程過ごされましたが、ご本人の希望で、グループホームに入居する運びとなりました。入居前より、グループホーム利用者との交流が図れるようレクリエーションに同行して一緒に楽しみ、宿泊体験にて寝食を共にして雰囲気慣れて貰えるように努めてきました。又、職場体験では、就労継続支援B型事業所や畜産関係の職場を体験して頂き、ご家族からの理解を得て、新たな生活へとステップアップをする事が出来ました。グループホームでの生活が始まり、仕事は畜産関係に就労されています。日常生活では、世話人さんと一緒に洗濯や掃除等、グループホームでの生活を伝えながら、試行錯誤されている最中です。もともと人懐っこい性格をされている事もあり、皆さんから受け入れてもらう事も早く出来ているようです。今後も楽しく生活して頂けるように努めていきたいと思っております。



『苦情解決委員会』

第三者委員 磨田 敦男

春は出会いの時でもあり、別れの時でもあります。今年度の苦情解決第三者委員会をもって役を退くことになりました。平成二八年に委嘱状をいただき、以来年二回施設内で起こる「気になる事故や出来事」について、内容や発生要因、その改善策などについてそれぞれの担当者から報告があり、五名の委員で改善策について検討し承認をいたします。特に、毎回の会議報告の中で感じていることがあります。入所者に大きな声で注意したり、名前の呼び方にも「一人ひとりを尊重」しながら努められている職員の方々の苦勞に感謝しています。あわせて職員の方々のケアも大事であると思っています。

他にも、私の苔山寮との関わりは「苔山寮陶芸教室」開講の一九九九年からお世話になっており、毎年十一月に開催される「天草大陶磁器点」への出展を楽しみに陶芸を続けております。また、地域の高齢者サロンへのご支援もいただいております。施設長並びに役員の皆様のご理解と物心両面にわたるご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。



『中核的人材養成研修』

苔山寮支援主任 鮑田 祐介

中核的人材研修とは強度行動障害支援者養成研修の内容を踏まえて、支援現場において適切な支援を実施、組織の中の確かな指導や助言ができる人材育成を目的としている研修です。私のグループ熊本県は大分県と同じグループで、トレーナー、サブトレーナーを含めた七名でスタートしました。今までの研修とは違い、年間を通して各事業所でモデル利用者に対してチームで実践を行いながら支援技術の向上を目指すとても具体的な研修です。特にアセスメントに関しては、様々なアセスメントの手法や様式を活用することで、根拠に基づく支援や記録、支援の見直し立案が十分であったと痛感しました。又、各受講者の取り組みに対して、グループメンバーの様々な角度からのアドバイスがとても刺激的であり、スキルアップに繋がりました。そのアドバイスを持ち帰り今年度の事例メンバーに伝える事でメンバーの分析する視点にも変化があり、結果アイデアが増える事でアプローチ方法も増えて良い支援に繋がっており、この事からもこの研修がチームの支援力アップになったと思います。今回モデルとして協力頂いたW氏とご家族の方々には感謝申し上げます。この経験を活かして、支援を諦めずに欲張らずに少しずつチームとして取り組んでいきたいと考えています。



『天草地区研修会』

第二苔山寮支援員 村田 陽次

二月七日、天草地区の研修会に参加させていただきました。研修会には初めての参加で緊張しましたが、他施設との交流も出来てとても良い勉強になりました。内容は認知症の利用者さんへの支援をどう行っていくかというもので、グループ討議を行いました。利用者さんへ支援員が話し掛けても分かって貰えなかったり、直ぐに違うことを話したりと、意思疎通の難しさがあります。しかし、認知症の利用者さんも以前に取り組んでいた好きな活動や好きな物などは覚えてる利用者さんもおられるなど、認知症にもいろいろな方がいらっしゃることも分かりました。私は認知症を患う利用者さんへの支援経験がなかったもので、今回の研修に参加して他施設での取り組み等を聞く事が出来てとても参考になりました。施設では重度・高齢化が進んで認知症の利用者さんも増えてきており支援が大変になっている事も多く聞かれました。第二苔山寮も高齢化が進んでいる現状があり、認知症症状が見られる方もいらっしゃいます。今回の研修で学んだことが少しでも活かして行けるように支援していきたいと思えます。

亀小駒打ち体験

2月19日、亀川小学校5年生72名の児童の皆さんと椎茸駒打ち体験を実施しました。小学生でも打ちやすいサイズの本木を150本準備し1人2本は打てるようにしました。組毎に別れてもらい実施しました。友達同士で話しながら行ったり、利用者や職員に、分からない所は聞きに来たりと元気いっぱい、利用者の方達も楽しそうでした。怪我もなく楽しい駒打ち体験が出来たのではないのでしょうか。終わってからは「たのしかった」や「まだ、やりたかった」との声も聞かれました。



ひな祭り交流会

3月5日ひな祭りが開催されました。ファッションショーも同時に行い、女性利用者の皆さんは、着物や華やかな衣装を着てドレスアップされ、レッドカーペットを堂々と歩かれ、満面の笑顔に私達職員も嬉しい気持ちになりました。ボランティアのミニゲームや読み聞かせも盛り上がり楽しい会となりました



さくらの会

今年度も合同でさくらの会を実施し、1年間頑張って取り組んだことを表彰しました。又、苓山寮では毎月実施している歩行活動スタンプラリーの年間表彰も実施しました。

第二苓山寮

- ・小嶋 稔宏さん ・岩崎久美子さん ・柴田 勝則さん ・岡本 美晴さん ・古川 秋男さん
- ・嶽坂 安男さん ・工藤智奈美さん ・福嶋 昭博さん ・久保 涼子さん ・白石 明菜さん
- ・山口 忠明さん ・山本智夏子さん ・山隈 孝也さん ・吉田 実夫さん ・脇中千賀子さん

苓山寮

【たくみ班】

- ・園田 健斗さん
- ・徳永 真子さん
- ・田邊 恭子さん

【あすなろ班】

- ・祝原 光則さん
- ・小田 義隆さん
- ・中村由佳里さん

グループホーム

- ・田村 俊さん ・中村 勇さん
- ・田中 麻美さん

スタンプラリー

- 【70~90歳代】 1位、大塚 治代さん 2位、今井 次男さん 3位、内古閑元雄さん
- 【60歳代】 1位、坂口美和子さん 2位、岡本 幸代さん 3位、上田 到さん
- 【50歳代】 1位、池田 富春さん 2位、白石 安洋さん 3位、小林 美保さん
- 【40歳代】 1位、音山 一章さん 2位、松下 勇人さん 3位、山元 勝信さん
- 【20~30歳代】 1位、園田 健斗さん 2位、松山 司さん 3位、切通 将英さん

花見会 3月26日

十五社宮での花見会を施設合同で実施しました。桜はまだまだ満開とはいきませんが、お弁当やお菓子、ぜんざいを皆さん美味しそうに食べていらっしゃいました。又、カラオケ大会を開催し、それぞれ得意な曲で勝負!皆さん真剣な表情で熱唱、聴いている皆さんも手拍子で盛り上がり楽しい時間となりました。



【新利用者紹介】

福里 琉心さん(苔山寮)
濱崎 義人さん(苔山寮)
徳永 愛里沙さん(苔山寮)
祝原 和則さん(苔山寮)
園田 健斗さん(第二苔山寮)
田村 俊さん(第二苔山寮)

【新職員紹介】

・杉田 恵(苔山寮支援員)
・糸田 英二(第二苔山寮事務員)

【異動職員】四月一日付け

▽吉永 慎理(天草学園↓苔山寮)▽江崎 琢磨(苔山寮↓天草学園)▽田中 美奈子看護師(苔山寮↓グループホーム)▽園田 リエ看護師(第二苔山寮↓苔山寮)▽上嶋 知子看護師(グループホーム↓第二苔山寮)

【退職職員】三月三十一日付け

・井立 眞実さん(苔山寮)

二十年間もの長い間、大変お世話になりました。新たな出発が実り多きものとなりますよう心より応援しています。たまには遊びに来て下さいね！

【出産お祝い】

苔山寮、中原支援員に第三子のご誕生です。お名前は國光(くにみつ)君だそうです。おめでとうございます。



【受賞のお祝い】

この度、苔山寮森野 謙一郎支援員が令和六年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。森野支援員は昭和六二年に苔山寮へ入職し、現在まで三八年間障害者福祉の向上に尽力してきました。おめでとうございます。



『個別支援計画(意思決定) 支援計画) 評価・作成』 サービス管理責任者 吉鶴 かおり



年度末になると各利用者の方の長期目標をもとに個別支援計画評価、モニタリングを行います。新規計画作成ではアセスメントを行い、評価で出た課題を踏まえながら計画作成へと繋がっています。利用者の方の面談の中で、地域生活や施設利用等の意向確認、又ご家族へも同様の確認を行い、情報収集後に担当者会議での意見を踏まえ計画を作成しました。高齢の方は健康面が重視されますが、健康面を配慮する中でも笑顔を引き出せる楽しみプランを取り入れています。又、積極的に身体を動かすことのできる方には色々な体験を通して挑戦して頂くことも必要と考えます。意思表出・意思決定が関わりの中で自然と引き出せる様に取り組みていきたいと思います。



△行事予定△

四月

- 一日 辞令交付式・えがおの会
- 五日 蘭姫祭り(出店)
- 二十日 牛深ハイヤ祭り見学
- 二三日 第一回管内研修
- 二七日 事業説明会・家族会総会
- 二八日 チャレンジ50

五月

- 九日 啓明会総合防災訓練
- 十三日 えがおの会
- 十九日 チャレンジ50

六月

- 一日 花しょうぶ祭り
- 二日 東向寺保育園交流会
- 三日 えがおの会
- 六日 溜池崩壊対応訓練・BCP訓練

△編集後記△

年度末で皆様もお忙しい時期と思いますがどんな一年だったでしょうか？施設では感染症対応期間がありましたご利用者の皆さんが楽しんで頂けるよう様々な行事を企画し取り組んで参りました。又、職員も支援力向上の為、施設内で研修を実施したり外部研修等に参加しました。引き続き来年度も良い一年になるよう取り組んで参ります。

さて、記事の中でもありましたが、出会いと別れの季節でもあります。長年勤めた職員で退職する方もいます。お別れの寂しい季節でもあります。が長年築き上げて来られた良き伝統をこれからも引き継いでいきたいと思います。

